令和5年度
業　務　の　ご　報　告

平素より水戸信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当金庫の令和５年度の業績や取組みの概要をまとめた「業務のご報告」を作成いたしました。ぜひご高覧のうえ、当金庫に対するご理解をさらに深めていただければ幸甚に存じます。

経　済　状　況

令和５年度の経済状況は、コロナ禍から社会経済活動の正常化が本格的に進む一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や円安の進行等の影響から物価上昇が顕著となり、個人消費の増加や企業の設備投資等による経済効果は限定的となりました。

また、金融情勢については、令和６年３月に日本銀行が金利政策の変更を決定したことを受け、多くの金融機関が預金金利の引き上げに動きました。

今後の景気動向については、引き続き物価上昇や金利引き上げの影響を注視する必要がありますが、賃上げを伴う個人消費の増加や、インバウンド需要の更なる拡大、政府による経済対策の効果等が期待されることにより、緩やかな回復を継続していくものと見ております。

事　業　概　況

当金庫は、「もっとも身近な金融機関として、質の高い金融サービスをお届けし、お客さま一人ひとりの夢の実現と地域経済の発展に貢献する」ことを経営理念としております。令和５年度よりスタートした中期経営計画 2025「明日へのサイン」では、「新たなみとしん、確かなつながり、豊かな地域」をテーマに３つの基本戦略と内部管理態勢の充実によって、お客さまとの信頼関係を深め、お客さまの抱える悩みや課題等の解決に向けて取り組んでまいりました。その結果、おかげさまをもちまして、業績は堅調に推移し、当期純利益は 17 億円を計上することができました。

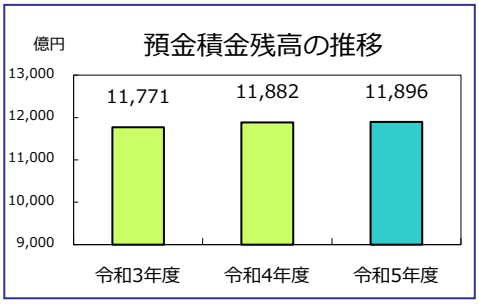
〈みとしん〉は、これからも、お客さまのよき相談相手として、お客さまと共に考え、共に行動し、共に成長してまいります。今後とも更なるご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

このまちの夢がきこえる
水戸信用金庫

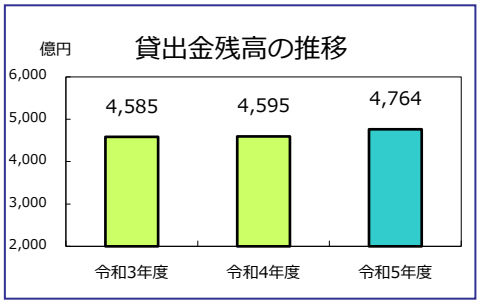
決算概要

▶預金積金・貸出金の状況

預金積金残高 1 兆 1,896 億円



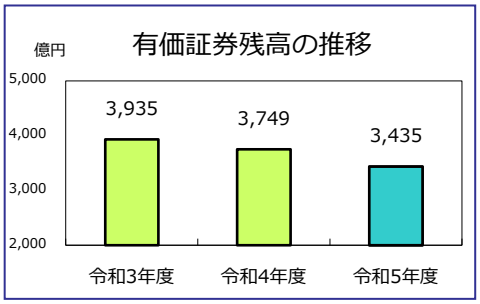
貸出金残高 4,764 億円



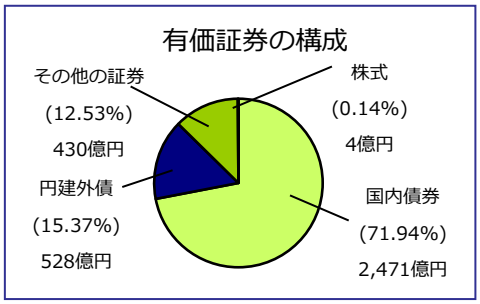
預金積金残高は、コロナ禍から徐々に経済活動が正常化したことや物価高騰等により個人預金が減少した一方、法人が引き続き手元資金を多めに保有したこと等により 1 兆 1,896 億円（前期比＋14 億円、＋0.11%）となりました。貸出金残高は、お客さまの様々なニーズにお応えする活動を展開したこと等により 4,764 億円（同＋169 億円、＋3.68%）となりました。

▶有価証券の状況

有価証券残高 3,435 億円



安 全 性 重 視 で 運 用



有価証券残高は、3,435 億円（前期比△314 億円、△8.37%）となりました。安全資産である国内債券への投資を中心とし、分散投資に取り組むことで、安定した利息配当金収入の確保に努めました。

▶損益の状況

当 期 純 利 益 1 7 億 円

経常収益は、資金運用収益が減少した一方、その他経常収益に含まれる株式等売却益が増加したこと等により 156 億円（前期比+10 億円、+6.72%）となりました。

経常費用は、金利上昇に備えて有価証券のメンテナンスを実施したことに伴い、その他業務費用に含まれる国債等債券売却損が増加したこと等により 137 億円（同+13 億円、+11.13%）となりました。

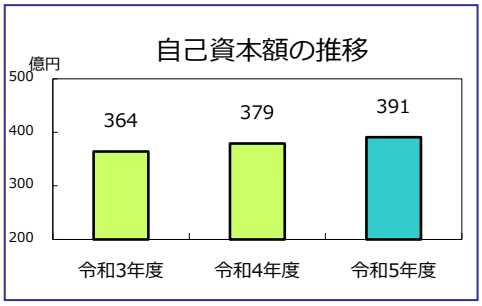
その結果、経常利益は 18 億円（同△4 億円、△17.52%）、当期純利益は 17 億円（同△4 億円、△16.62%）となりました。

	令和4年度	令和5年度	増減額
経常収益	**146**	**156**	**10**
資金運用収益	125	118	△ 7
役務取引等収益	13	13	0
その他業務収益	0	4	4
その他経常収益	6	20	14
経常費用	**124**	**137**	**13**
資金調達費用	2	2	0
役務取引等費用	13	13	0
その他業務費用	1	12	11
経費	98	98	0
その他経常費用	8	10	2
貸倒引当金繰入額	4	4	0
貸出金償却	1	4	3
経常利益	**22**	**18**	**△ 4**
特別損益	△ 0	△ 0	0
税引前当期純利益	**21**	**18**	**△ 3**
法人税等合計	0	0	0
当期純利益	**21**	**17**	**△ 4**

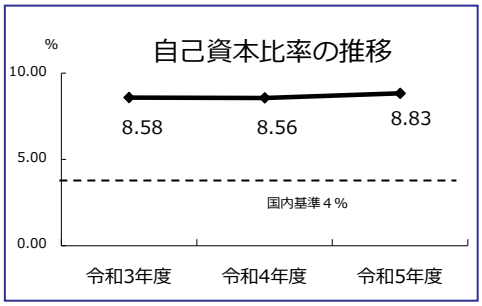
単位：億円　（億円未満は切り捨て）

▶自己資本の状況

自己資本額 391 億円



自己資本比率 8.83％



自己資本額は、391 億円（前期比+12 億円、+2.93%）となりました。また、自己資本比率は、国内基準の４％を上回る 8.83%（同+0.27pt）となりました。

みとしんについて

▶経営理念

私たちは、もっとも身近な金融機関として、質の高い金融サービスをお届けし、
お客さま一人ひとりの夢の実現と地域経済の発展に貢献します。

▶SDGｓへの取組み

水戸信用金庫は、地域社会の一員として「経営理念」と「SDGs（持続可能な開発目標）」への取組みを通じ、お客さま一人ひとりの夢の実現や地域経済の発展、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

地域社会への貢献

◇SDGｓ私募債への取組み　◇フードバンクへの寄付、募金等の実施　◇大学への寄付講座、金融リテラシー教育等の実施　◇地域イベントへの参加　◇スポーツイベントの開催　◇ネーミングライツ取得によるスポーツ振興　◇教育ローン・子育て応援ローン等の取り扱い　◇お客さま本位の業務運営に基づく資産形成支援　◇高齢者等に配慮した事務取扱　◇特殊詐欺の未然防止への取組み　◇茨城県警察との県内５金融機関の包括連携協定　◇マネーローンダリング及びテロ資金供与対策　◇災害時ライフラインの提供　など

地域経済の活性化

◇創業支援の強化　◇外部専門機関との連携によるソリューション強化　◇各種セミナーの開催　◇ビジネスマッチングイベントの開催　◇経営支援サービス「Mitoshin Big Advance」の提供　◇しんきん圏央道アライアンスの締結　◇新現役交流会の実施　◇オープン API の環境整備　など

環境保全への取組み

◇ペーパーレスの推進　◇クールビズ・ウォームビズの実施　◇照明器具の LED 化への取組み　◇エコカーへの入れ替え　◇リフォームプラン・エコ等の取り扱い　◇グリーンボンドへの投資　など

働きやすい職場づくり

◇ネットワーク無線化、業務効率化への取組み　◇業務知識向上のための研修の実施　◇女性職員の登用　◇健康経営の促進（健康経営優良法人 2024 の取得）　◇プラチナくるみんの認定取得　◇休暇取得制度の充実　◇ハラスメント防止等コンプライアンス態勢の強化　など

地域活性化に向けた取り組み

事業

▶新現役交流会の開催

事業支援として、経済産業省関東経済産業局と連携し、事業改善等の課題を持つ経営者の方が、豊富な知識や経験を持つ新現役人材をアドバイザーとして採用するためのマッチングの場として、新現役交流会を開催しました。令和５年度は、参加企業 16 社のうち８社が支援成約となりました。

暮らし

▶信用金庫の日のボランティア活動

生活支援として、６月 15 日「信用金庫の日」に合わせて、献血や募金活動のほか、各支店に「きずな BOX」を設置し、役職員の家庭にある食品を NPO 法人フードバンク茨城へ寄付するなど様々な地域貢献活動を行っています。

学び

▶地元大学への寄付講座

学業支援として、茨城大学と常磐大学の学生を対象に、各６回特別講義を行っています。地域に関する金融をテーマに理事長講話をはじめ、「信用金庫の役割」、「信用金庫の業務」、「ビジネスプランの作り方」、「創業支援」について大学２～4 年生を対象に実施しました。また、令和５年度から高校生を対象に「金融リテラシー講座」を行っています。

スポーツ

▶「水戸黄門漫遊マラソン開催」の応援

スポーツ支援として、「水戸黄門漫遊マラソン」の開催を特別協賛企業として支援しています。当金庫では、運営面でも役職員 600 名がボランティアスタッフとして携わり、１万人を超えるランナーの皆様が風光明媚な県都水戸を楽しんでいただけるよう沿道でのサポートや応援隊としてお手伝いしています。

このまちの夢がきこえる
水戸信用金庫
〒310-0803 茨城県水戸市城南 2-2-21 TEL 029-222-3311(大代表)
https://www.mitoshin.co.jp/